

# 鳴門教育大学同窓会会報

2024年9月1日発行

## 同窓会会長就任のごあいさつ

鳴門教育大学同窓会会長 横 畠 道 彦

初秋の候、会員の皆様方におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は、同窓会の運営と母校の発展のため、ご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この度、五宝友哉前会長の後任として鳴門教育大学同窓会の会長職を拝命いたしました横畠道彦と申します。同窓会が皆様にとって、さらなる交流・親睦を深める場になるよう微力を尽くしてまいります決意です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

皆様ご承知のとおり、五宝前会長は、同窓会の舵取り役として7年間その運営に携わってこられました。特に、新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、厳しい生活を強いられた現役学生や院生の生活支援をはじめ、地元徳島をはじめとした多くの同窓会支部の設立にご尽力をいただきました。コロナ禍を含む7年間、新たな手法を取り入れながら同窓会の活動をつつがなく進めてこられ、多くの業績を残されました。五宝前会長に心から敬意を表します。

さて、当会の目的として「会員相互の親睦を図る」「大学と連携を図るとともに、母校の発展に寄与する」と、会則に示されています。この同窓会は、常に学生、院生、留学生、卒業生や修了生（全国で活躍する教職員や臨床心理士）等の「安心基地」であることをめざしてまいります。また、「教師教育のトップランナー」として、発展を続ける鳴門教育大学の最高のパートナーとして、成長し続けることのできる教員養成に向けての支援を行ってまいりたいと考えます。

皆様の、より一層のご協力をお願い申し上げます。

## 同窓会会長退任のごあいさつ

前鳴門教育大学同窓会会長 五 宝 友 哉

皆様こんにちは。この度6月29日の理事会にて、同窓会長を退任させていただきました。皆様方には、永年にわたりご支援・ご指導・ご鞭撻くださり誠にありがとうございました。心から感謝を申し上げます。

在任中は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、各種の会合が実施できず、書面で会議を実施したり、親睦会を中止したりしたことがありました。学生の生活も経済的に厳しい状況となり、学生食堂でカレーライスが100円で提供したり、手に入りにくいマスクを配布したりして、学生の生活支援を行いました。一方で、全国各地の会員の皆様や大学関係者のご尽力により、静岡、徳島、沖縄、大阪に、都道府県支部が設立されました。

なにかと至らぬ点があったかと思いますが、私が同窓会の会長を7年間無事に務めることができたのも、ひとえに役員の皆様をはじめとした会員の皆様、そして大学の先生方や職員の皆様の、ご理解とご協力のおかげと感謝しております。

同窓会は、会則にありますとおり、会員相互の親睦を厚くし、母校と連絡を密にすると共に、あわせて鳴門教育大学の発展に寄与することを目的としています。母校鳴門教育大学は、教師教育のトップランナーとして発展を続けており、教員就職率も全国トップクラスを維持し続けています。

今後とも、会員の皆様や大学が発展されると同時に、同窓会も成長・発展することを心より祈念し、会長退任の挨拶とさせていただきます。在任期間の7年間、大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

## ◇ 会長及び副会長の交代について ◇

### < 鳴門教育大学同窓会理事一覧 >

| 卒業・修了期                    | 氏 名（卒業・修了年度）       |                      | 備 考             |
|---------------------------|--------------------|----------------------|-----------------|
| 1 期～ 10 期（1985年度～ 1994年度） | 学 部                | 〈副 会 長〉月本 直樹（1993年度） | 徳島県教育委員会体育健康安全課 |
|                           | 大学院                | 五宝 友哉（1988年度）        | 元中学校教員（城東中学校）   |
| 11期～ 20期（1995年度～ 2004年度）  | 学 部                | 〈会計監査〉富田 知之（1995年度）  | 附属小学校           |
|                           | 大学院                | 〈会 長〉横畠 道彦（1999年度）   | 元中学校教員（脇町中学校）   |
| 21期～ 30期（2005年度～ 2014年度）  | 学 部                | 藤本愛実里（2013年度）        | 附属中学校           |
|                           | 大学院                | 〈会計監査〉桑村 裕佳（2007年度）  | 土成中学校           |
| 31期～<br>（2015年度～ 2024年度）  | 学 部                | 平山安香音（2017年度）        | 牟岐中学校           |
|                           | 大学院                | 〈副 会 長〉長谷 美穂（2015年度） | 西麻植小学校          |
| 学 生 会 代 表                 | 伊藤 愛莉（学校教育学部 第3年次） |                      | 学生会会長           |
| 院 生 会 代 表                 | 中島 悠（大学院 第1年次）     |                      | 院生会会長           |

## ◇ 令和6年度鳴門教育大学同窓会事業計画 ◇

### 1. 会員相互の親睦を厚くする事業

- (1) 学部・大学院新入生歓迎イベント（ウェルカムカレー）
- (2) 学部新入生合宿研修親睦補助      (3) 卒業・修了記念パーティー開催補助
- (4) 同窓会・クラス会等後援

### 2. 会員相互の連携のための研究や交流を支援する事業

- (1) 都道府県支部集会関係
  - ①香川県支部総会・交流会      ②関東支部総会・交流会      ③広島県支部総会・交流会
  - ④静岡県支部総会・交流会      ⑤沖縄県支部総会・交流会(隔年開催)      ⑥徳島県支部総会・交流会
  - ⑦愛媛県支部総会・交流会      ⑧高知県支部総会・交流会      ⑨和歌山県支部総会・交流会
  - ⑩大阪府支部総会・交流会      ⑪東海支部設立総会・交流会
- (2) コース別研究会・同窓会
  - ①学校数学研究会（数学コースの同窓会）
  - ②鳴教心友会（生徒指導・臨床コースの同窓会）（10月12日・13日）
  - ③鳴門教育大学英語教育学会（英語コースの同窓会）

### 3. 鳴門教育大学の発展に寄与するため大学や学生を支援する事業

- (1) 在学生の都道府県人会（教員採用試験対策）
  - ①高知県人会開催支援      ②香川県人会開催支援      ③沖縄県人会開催支援
- (2) 学生の課外活動支援
  - ①鳴潮祭開催支援      ②美術コース修了・卒業展開催支援
  - ③阿波おどりサークル出演支援      ④国際交流パーティー開催支援
- (3) 未来の教師を育む教室づくり支援

### 4. 通年事業

- (1) 同窓会会報の編集・発送      (2) メールによる「同窓生のための何でも相談室」
- (3) 会員名簿の維持管理      (4) 自転車のリサイクル      (5) 大学構内のプランターの花植

### 5. 会議の開催

- (1) 理事会（6月29日）

## ◇ 鳴門教育大学の近況報告 ◇

### 教員養成DX推進機構開設記念シンポジウムを開催

2022（令和4）年12月22日（木）に教員養成DX推進機構開設記念シンポジウムをメタバース（oVice）によるオンラインで実施し、同大教職員、他大学の教職員、県内外の教育関係者など約100人が参加しました。

本学では、令和4年度にセルフデザイン型学修支援センター、情報基盤センター、遠隔教育推進センターで構成する教員養成DX推進機構を設置、教員養成ならではのDXの推進により今後のわが国の教師教育を巡る多様な課題解決に取り組んでいます。

シンポジウムでは、開所セレモニー後、佐古学長の開会挨拶、小幡泰弘文部科学省総合教育政策局教育人材政策課長、榊浩一徳島県教育委員会教育長の来賓挨拶があり、藤村裕一教員養成DX推進機構長、各センター所長から教員養成DX推進機構の概要並びに活動紹介などが行われました。

次に、加治佐哲也兵庫教育大学長から「これからの教員に求められる資質能力と教員養成の課題」、藤村裕一教員養成DX推進機構長から「教員養成におけるDXの推進」について基調講演が行われました。

続いて、記念シンポジウム「これからの教員養成とDX」として、生田雅和徳島県教育委員会教育次長、梅津正美理事・副学長、藤原伸彦セルフデザイン型学修支援センター所長、益子典文岐阜大学教育学部副学部長から講演の後、泰山裕准教授をコーディネーターに講演者による質疑討論が行われ、最後に美馬持仁理事・副学長による閉会挨拶をもって終了しました。



教員養成DX推進機構開所式の様子

## 教職大学院遠隔教育プログラムがスタート

働きながら学ぶ現職教員のために、幼児教育コース、学校づくりマネジメントコース、生徒指導コース、学習指導力・ICT教育実践力開発コースの教職系4コースに、新しく「教職大学院遠隔教育プログラム」を令和4年度に開設しました。このプログラムの特色は、1つ目に、働きながら学べる工夫として、長期履修学生制度（3～5年）やフレックスタイム制を採用しています。また、今日の授業で学んだことを明日の教育活動に活かせるように学びと実践をタイムリーに連動させる学修スタイルとなっています。2つ目に、スクーリングやオンラインゼミで、他県や異校種の学修者がクロスオーバーする「学びのコミュニティ」により協働的な学びを可能にしています。3つ目に、教育活動に則した個別課題を探究するためにオンラインによる大学教員の「伴走型指導」をとっています。4つ目に、学修や実践研究などに関する相談や支援を受けられるように、教職経験や大学院の学修経験をもつ専任メンターが常置されています。令和4年度には1都1道1府16県から入学者を迎え、学修をスタートし、夏にはスクーリングも行われ、個々に学びを着実に進めています。



遠隔授業の様子

## ◇ 後輩達の活躍 ◇

### 【個人】

- ・大久保慎宙さん 中学校教育専修 美術科教育コース 3年  
第76回徳島県美術展 特選（日本画部門）
- ・安藤 七海さん 高度学校教育実践専攻 保健体育科教育コース 1年  
第73回四国地区大学総合体育大会 女子100mH 第1位
- ・寺内 春菜さん 高度学校教育実践専攻 保健体育科教育実践分野 2年  
第73回四国地区大学総合体育大会 女子棒高跳 第1位
- ・佐藤奈那子さん 高度学校教育実践専攻 社会科教育コース 1年  
第25回徳島県女子剣道選手権大会（第61回全日本女子剣道選手権大会県予選会） 第3位
- ・池永翔太郎さん 小学校教育専修 学校教育実践コース 3年  
パソコンウイルス対処名目の架空料金請求詐欺を未然防止し、鳴門警察署から表彰

### 【団体】

- ・野球部  
第73回四国地区大学総合体育大会 準優勝
- ・ラグビーフットボール部  
第73回四国地区大学総合体育大会ラグビーフットボール競技（セブンズ） 準優勝
- ・女子ハンドボール部  
第73回四国地区大学総合体育大会 準優勝

## ◇ 訃報のお知らせ ◇

美術教育コースの鈴木久人先生が令和6年4月30日逝去されました。65歳という、あまりにも早い旅立ちとなりました。1年あまりの闘病・治療の末、急死でした。

鈴木先生は、1958年9月10日に静岡市でお生まれになり、その後東京芸術大学・絵画科に入学され、油絵を専攻されました。3年間のフランス留学を経て、鳴門教育大学には、1994年10月に着任され、それ以来、約30年にわたって、美術科教育コースの中心的存在として、多くの学部生、大学院生をきびしくも親切にご指導になり、県内はもとより、全国の美術教育及び絵画教育に貢献されました。作家としても材料を熟知した上で、清冽な作風を展開されてきており、これからの更なる飛躍が期待されている、まさにそのときにお亡くなりになったこと、ご本人の無念もはかりしれません。改めて、鈴木先生のご冥福をお祈り申し上げます。（美術教育コースのホームページから引用）

元理科教育コース教員、元教員教育国際教育センター所長、元副学長（国際教育担当）の近森憲助先生が令和6年8月5日逝去されました。

先生は、昭和26年北海道でお生まれになり、北海道大学大学院獣医学研究科修士課程修了後徳島大学医学部を経て、昭和60年から本学に着任され、平成31年退職されるまで、33年間の長きにわたり、本学の教育・研究・国際教育

協力に貢献されました。

令和2年から3年間は、高知学園大学及び高知学園短期大学の学長を務められました。

この間、本学では、初等理科、理科教材特論等を通じて、多くの学部学生、大学院生をご指導されました。

また、教員教育国際教育センター所長として、JICAとの連携のもと、教育改善を目指す諸国の国際協力事業を推進され、発展途上国の教員に日本の教育方法や教育内容を教える事業や専門家の派遣のため、アフガニスタン、南アフリカ、ケニア等10カ国以上の国々と国際協力事業を行いました。関わった留学生及び関係者の悲しみは計り知れません。また、同窓会としては、高知県支部の研修会の講師として講演をしていただく他支部の総会に多数参加いただきました。

謹んでご冥福をお祈りしています。

## 環境は物言わぬ教師である

鳴門教育大学学長

佐 古 秀 一

初代学長の前田嘉明先生は、このお言葉通り、鳴門教育大学が「教員のための大学」として教育研究の先端を切り拓くことができるよう大学づくりに尽力されました。鳴門教育大学は、40数年を経てキャンパスの木々も大きく成長し、緑豊かな、そして四季折々の花が彩りを添える美しい大学となっています。本学を訪れた方々が、整然と配置された美しいキャンパス、環境の素晴らしさに驚かれることもしばしばです。

私が学長職を仰せつかってから、「教師教育のトップランナーへ」を掲げいくつかの大学改革を進めております。その中心にある問題意識は、「変化の激しい社会、次々と新たな課題が顕在化している学校において、これからの教育を担う学生（教師）には何が必要なのだろうか？」ということです。教育内容（カリキュラム等）の改編はもちろんのことですが、それとともに未来の教師を育てる環境としての教室づくりが必要だと考えております。自らの学びを深める教室、仲間との交流や協働を柔軟に行うことのできる教室、一方向的な知識伝達ではなく授業者たる大学教員と学生がICTを活用して、相互にそして多様なやりとりができる教室、そのような環境を整えることが、これからの教師の育成には不可欠であると考えています。財政状況の厳しい中ではありますが、学生ファーストの観点から、同窓会のご賛同も得て、教室環境の整備に取り組んでおります。

来春には、修了生・卒業生の皆様が学ばれた鳴教の教室とは、大きく変わった教室が出現すると思います。ご期待いただくと共に、「未来の教師を育む教室づくり」に会員皆様からのご支援のほど、よろしくお願いいたします。

### 連 絡 事 項

1. 本年度の鳴門教育大学ホームカミングデーは、中止になりました。詳細は、大学のホームページをご覧ください。

### 2. 鳴門教育大学同窓会のホームページのご案内

同窓会の役員一覧、会則、同窓会・クラス会への後援援助金支給基準等の会計規則が掲載されています。同窓会のホームページは鳴門教育大学のホームページから入れます。

### 3. メールアドレス提供のお願い

郵便料金の値上げ等の関係上、経費削減のため、メールにて会報を送信することを検討しています。下記メールアドレスへ送信または、同封の「異動通知連絡カード」で提供してください。

〒772-8502 鳴門市鳴門町高島字中島748

鳴門教育大学同窓会事務局 土 井 榮 次

電 話：090-5279-1466 e-mail：nueaa@naruto-u.ac.jp